

ポスター発表 午前

2月7日(金) 11:30~12:30 体育館

<提案のポイント>

①

小学校 生活
[総合教育センター研修]

児童の気付きの質を高める生活科の授業づくり
～他教科等とのつながりを生かした振り返りを通して～

美郷町立千畑小学校 教諭 深谷 ゆき

教師が単元配列表を活用し、他教科等とのつながりを考察した単元を計画したり、児童の気付きの質が高まっている姿を予想したりしたことで、児童の気付きに対して他教科等とのつながりを考えて問い返したり共感したりできるようになった。その結果、児童は他教科等で学んだことを意識しながら学習活動に取り組むようになった。さらに、学びを振り返る際に、教師が価値付けたことにより、児童は他教科等で学んだことを活用することができた手応えを得ていた。

②

中学校 特別活動
[総合教育センター研修]

中学校第2学年における積極的に努力する意欲
や態度の育成を目指した学級活動の指導の工夫
～自己理解を促すワークシートの活用を通して～

横浜市立横手明峰中学校 教諭 佐藤 良明

自己理解を深めることは、自分についての気付きを増やし、積極的に努力する意欲や態度を育成することにつながると考えた。中学校第2学年の学級活動において、自分自身を見つめることのできるワークシートを活用し、アウトプットの機会を設定する授業を試みた。その結果、生徒の自己理解の深まりによる目標の具体化、主体的に取り組もうとする意欲や態度の向上が見られた。

③

高等学校 数学
[総合教育センター研修]

定時制高等学校1年次の学校設定科目「数学入門」
における義務教育段階の学習内容の確
実な定着を目指した授業づくり
～「数・式ミエタシート」の活用を通して～

県立秋田明徳館高等学校 教諭 中泉るり子

本校では「数学I」で学習する内容の接続を円滑に行う目的で、義務教育段階の学習内容を補うための学校設定科目「数学入門」が受講できる。「数学入門」において、数学的内容を自分の言葉で表現し、自分の思考過程を可視化する学習シート「数・式ミエタシート」を活用した。その結果、数学用語の意味や計算方法の手順などの知識・技能の定着のほかに、自分の考えを伝えようとする意欲の向上などが見られた。

④

特別支援学校 特別支援教育
[総合教育センター研修]

知的障害特別支援学校高等部における日常生活
に生きる保健体育科「性に関する指導」
～指導内容関連図とワークシートの作成・活
用を通して～

県立能代支援学校 教諭 柿崎 貴之

保健体育科「性に関する指導」において指導内容関連図とワークシートを作成し、教育活動全体で日常的に活用することで、日常生活に生きる性に関する正しい知識や態度を培うことを目指した。高等部教員間で指導内容関連図を活用し、情報共有した結果、様々な指導場面において繰り返しの指導が可能となったほか、自他の考えを整理して記入できるワークシートを活用したことで、互いの考えを比較しながら話し合いを行う姿が見られるようになった。

⑤

小学校 外国語
[総合教育センター研修・小学校外国語教育実践研究]

自分の考えや気持ちなどを伝え合うことが
できる基礎的な力を養う外国語科の指導
～既習事項と活動を「つなぐ」授業づくりを
通して～

湯沢市立湯沢西小学校 教諭 黒澤英美子

小学校第5学年における外国語科について、学びの連続性に配慮したスモールステップの単元計画、既習事項の意識化・共有化を図った授業展開等、既習事項と活動を「つなぐ」授業を構想し、実践を重ねた。より詳しく・会話をつなぐ・相手意識を視点に、既習事項を生かして伝え合う活動を重ねたことが、目的や場面、状況等に応じて、自分の考えや気持ちなどを工夫して伝えようとする意欲や習得した知識・技能を活用する力の向上につながった。

ポスター発表 午前

2月7日(金) 11:30~12:30 体育館

<提案のポイント>

本学園は、学校に行けない子どもたちに様々な活動を通して、心身のリフレッシュを図る機会を提供している。本研修では、学習活動や体験活動において、「自己決定の場」「活躍できる場や認められる場」「互いを理解し、認め合う場」を設けることで、自尊感情や自己有用感の醸成が図れると考え実践した。どのような取組が自尊感情や自己有用感の醸成につながったか、子どもたちはどのように変容したか、その成果と課題について紹介する。

県内の特別支援学校に読書活動等に関する質問紙調査を行った結果、全回答校で「定期的な読書環境の整備」が行われ、「幼児児童生徒が様々な読書活動に関わっている」ことが分かった。また、学校の状況に応じて「一斉の読書活動を実施」し、「地域の図書館を活用」することで、幼児児童生徒の社会性や学力が向上し、生活が豊かなものになると考えた。そして、それらを主体的・対話的で深い学びの実現につながる手立てとして提案する。

近年、聴覚支援学校における聴覚重複障害児の在籍率は増加している。一方、他の特別支援学校においても、聴覚重複障害児は多く在籍している。その中には、聴覚支援学校のセンター的機能を活用している児童生徒もいるが、実態が明らかになっていないケースも少なからず存在する。そこで、本研究では、特別支援学校に在籍する聴覚重複障害児についての実態調査を行い、在学中から卒業後の生活までを見据えた支援の在り方について検討した。

自分の言葉で伝え合う楽しさを実感できる授業づくりができたならば、外国語学習への不安も解消され、主体的に自分の考えや気持ちを伝え合うことができるのではないかと。そこで、必然性や必要感のある場面設定による授業展開や、単元のゴールやねらいを児童と共有すること、また、クラスルームイングリッシュへの慣れ親しみや既習事項の活用にポイントを置いた実践を柱に研究を進めた。これにより、主体的に学習に取り組もうとする意欲が向上した。

秋田県教育委員会が文部科学省の委託を受けている事業の一つとして、県生涯学習センターでは「障害者の生涯学習」の調査研究事業を行っている。1年間の研修を通して、障害者の生涯学習環境を豊かにするため、社会教育と学校教育を結び付ける橋渡し役として何ができるかを考察した。多様な遊び場イベントを通じた「共生社会」実現の可能性を探り、地域や専門機関と連携した学びの場を更に多様に充実させることを提案する。

⑥
中学校 生徒指導
[長期社会体験研修(あきたリフレッシュ学園)]
一人一人の自尊感情、自己有用感の醸成を図る生徒支援の在り方
北秋田市立阿仁中学校 教諭 成田 裕一

⑦
特別支援学校 特別支援教育
[長期社会体験研修(県立図書館)]
特別支援学校の読書活動と図書館の活用に関する調査研究
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた、読書活動充実のための手立ての検討～
県立支援学校天王みどり学園 教諭 菅原 研

⑧
特別支援学校 特別支援教育
[秋田大学教職大学院研修]
特別支援学校に在籍する聴覚重複障害児の現状と課題
～秋田県内の実態調査から～
県立聴覚支援学校 教諭 齊藤 徹

⑨
小学校 外国語活動・外国語
[拠点校・協力校英語授業改善事業]
自分の言葉で伝え合う楽しさを実感できる授業づくり
仙北市立生保内小学校 教諭 渡邊 圭子

⑩
小学校 生涯学習 社会教育
[長期社会体験研修(秋田県生涯学習センター)]
障害者の生涯学習支援の在り方についての一考察
～「障害者の生涯学習」に関する調査等の結果から～
秋田市立牛島小学校 教諭 相澤 徹

ポスター発表 午前

2月7日(金) 11:30~12:30 体育館

<提案のポイント>

研究協力校において、道徳科と関連させたPAプログラムを実践した。事後の教師の声や生徒の変容から、学校生活の基盤となる「人と関わる力」に高まりが見られた。このことから、PA活動の中で体験する学びのサイクル「体験-振り返り-気づき-活用」は、集団づくりにおける有効なツールであり、中学校の教育活動に意図的かつ計画的に取り入れることで、より効果を高めることができるのではないかと考えた。

横手支援学校文化部写真班は、創設6年目を迎えた。6年間の活動を振り返り、次の3点を報告、提案する。
①知的障害のある生徒の絵画は平面的と言われているが、写真撮影を行うことで、自然の造形美等を立体的に捉え、表現することができる。
②構図を指導することにより、各種写真コンテストに入賞できた。
③卒業後も写真撮影や美術制作を続けている事例を基に、生涯学習に発展させるためのポイントを提案する。

「株式会社 わらび座」は、劇団わらび座を中心にホテル・温泉施設、ビール工場、農業施設など、多方面に経営を拡大してきたエンターテインメントリゾート企業であり、顧客を獲得するために、様々な工夫を行っていることを学んだ。この発表では、①顧客を迎えるまでの準備②顧客を迎えての対応の仕方③社員全体で共有しているもの、についてまとめ、学校教育の場での活用を目指し、提案する。

専門学科「理数科」では、科学的、数学的な能力を高め、思考力をもつ人材を育成することを目的に「課題研究」での探究的な活動をはじめ様々な取組を行っている。しかし、生徒の学習評価(成績)をどのように行っていくかは各学校で課題となっている。そこで、全国の理数科設置校に「課題研究」の評価の方法についてアンケートを実施し、現状や課題の調査を行うことで理数系探究活動の評価手法の改善に生かすこととした。今回はその結果を報告する。

身近な教材であるミニ四駆を活用して、高校2年次より学習する物理の学習の入り口とする。様々な実験(電圧の違いによる速度の変化、空力による姿勢制御や速度変化など)の比較・検証を通し、PDCAによる学習への動機付けとしたい。

⑪

中学校 教科等指導

[長期社会体験研修(県立保呂羽山少年自然の家)]
[文部科学省委託「PAを活用した道徳教育推進事業」に関する調査研究事業]

中学校の教育活動におけるプロジェクトアドベンチャーの効果と活用方法

湯沢市立湯沢南中学校 教諭 打川 淳

⑫

特別支援学校 特別支援教育

生涯学習を見据えた文化部写真班の取組
～写真は知的障害者の感性をストレートに表現～

県立横手支援学校 教諭 山田 育宏

⑬

小学校 その他

[長期社会体験研修(株式会社わらび座)]

民間企業における顧客への関わり方・コミュニケーションから得られたもの
～学校教育への活用をめざして～

大仙市立大川西根小学校 教諭 進藤 孝宏

⑭

高等学校 理科

[齋藤憲三・山崎貞一顕彰会“個人研究”(平成30年度)]

理数系探究活動の評価に関する研究

県立秋田高等学校 教諭 遠藤 金吾

⑮

高等学校 教科等指導

ミニ四駆®を用いた生徒の探究的思考力育成
～物理学的視点を中心に～

県立新屋高等学校 教諭 神居 正暢

ポスター発表 午前

2月7日(金) 11:30~12:30 体育館

<提案のポイント>

対話の相手は、「他者」だけではない。内なる「私」。その私になろうともがく生徒たち。「私」という固有の「人格」になっていくために欠かせないもの、それがコミュニケーション活動である。「人格」は他者と出会い、交わることで初めて目覚め、動き出す。「私」の意志を表明し、反論を受けることでその視野に幅と厚みが増す。自己確立が難しい時代と言われる中で「私」を確かにしていく生徒たちと奮闘する教師たちの実践内容を紹介する。

⑩

高等学校 英語

[拠点校・協力校英語授業改善事業]

[第5回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会出場]

ディベート活動が学校を救う！

～スピーキング活動がもたらす効果～

県立角館高等学校 教諭 高橋 輝享
教諭 大塚 繁太郎